

令和3年度歴史公文書等管理委員会 会議資料

第1 審議事項

1 利用請求に対する処分等についての審査請求

第2 報告事項

1 保存期間満了文書の選別

(1) 令和3年度保存期間満了文書の選別

- ・令和3年度保存期間満了文書の選別について

別紙1

令和3年度末に保存期間が満了する文書…10,113点

内訳 保存・保管期限の延長または変更をおこなった文書…334点 (3.3%)

歴史公文書等に該当するとして移管とした文書………145点 (1.4%)

廃棄する文書………9,634点 (95.2%)

(2) 令和4年度保存期間満了文書の選別

- ・令和3年12月22日付事務連絡
予備的判断の実施依頼（総務部総務課（以下総務課）→全庁）
- ・令和4年2月1日付事務連絡
予備的判断のとりまとめ確認依頼（同上）
→総務課の作業が終了し、歴史館にデータ提供
- ・2月末より専門的判断を開始。順次協議開始
→3月18日を協議の回答締切日とした
- ・今後の作業
協議結果・データの取りまとめ、最終確認ののち廃棄・移管
夏前 燻蒸（殺虫・殺カビ）、搬入
秋頃 装備、配架、目録の公開

2 歴史公文書等の受入れ・整理・公開

(1) 歴史公文書等の整理状況

- ・平成26年度で保存期間が満了した文書

内容：旧永年保存文書

平成26年度以来懸案となっていたもの

- ① 総務課管理の文書管理システムに登録されたデータと、廃棄文書の紐づけ作業を実施中（昨年度報告済）

ただし、上記システム未登録の文書は、歴史館でファイル基準表を作成して総務課に提供することとなった

- ② 廃棄分を順次本庁に送り返し廃棄する予定

(2) 現用文書に関する助言

- ・管財課、まちづくり推進課、産業振興課、生涯学習スポーツ課ほか
所の廃止、事業の廃止、倉庫の片付け等に起因する過年度文書の整理について、文書作成課に対し助言をおこなった

(3) 歴史公文書等の目録公開状況

ア 目録の公開点数

	目録公開点数
平成 27 年 4 月 1 日時点	857 点
平成 28 年 4 月 1 日時点	949 点
平成 29 年 4 月 1 日時点	1,117 点
平成 30 年 4 月 1 日時点	1,270 点
平成 31 年 4 月 1 日時点	1,422 点
令和 2 年 4 月 1 日時点	1,629 点
令和 3 年 4 月 1 日時点	1,774 点

イ 目録の公開方法

- 紙に印刷し、事務室に備え付けて閲覧に供している
- 市民スペースに検索端末を設置し、利用に供している

3 歴史公文書等の利用・照会等

歴史公文書等の利用状況

別紙 2

4 歴史公文書等に関する保存管理

(1) 保存環境の整備

- ・収蔵庫に棚板を増設した
- ・データロガーによる温湿度測定、虫害トラップによるモニタリングを実施
湿度は通年で 50～55%。カビ・虫等の発生は認められなかった

(2) 修復

ア 市制施行以前の歴史公文書の修復

- ・劣化の激しい簿冊 16 点（昭和戦前期の簿冊）の修復を業者に委託して実施
→市制施行以前の簿冊は、令和 4 年度で全て修復が終わる見込み
- ・令和 4 年度以降、劣化の著しい酸性紙の文書について、脱酸措置の方針を検討する

イ 市制施行以前の歴史公文書の撮影

- ・修復を終了した簿冊のうち、文字が消失しかかっている文書（例：こんにやく版による印刷物）、劣化が著しい文書を含む簿冊等についてデジタル化をおこなった（19 冊。8,999 コマ）

- ・明治期の文書は全て撮影が終了した
- ・大正期の文書は、庶務文書の撮影を保留した
→議会関係文書を優先して撮影し、行政利用に備えることとした

ウ 市制施行以後の歴史公文書

- ・表紙等に破損や汚損が見られる文書について、館内にて表紙の換装、金属具の除去、粘着テープの剥離等の作業を適宜実施し、文書の劣化を予防した
- ・ホコリの清拭などのクリーニング作業を実施した

エ レプリカの作成

- ・令和2年度末に町制・市制施行時（昭和3・22年）の文書（各1点）のレプリカを作成した
→現在、常設展示室には歴史公文書等を展示していない
公文書館機能・歴史公文書の周知を目標に展示資料の入れ替えをおこなう

5 歴史公文書等に関する普及活動

（1）歴史公文書等の展示 ※歴史公文書の出品数順

ア 令和3年度 「東京空襲資料展」

開催期間：令和4年3月6日（日）～13日（日）

開 場：武蔵野市芸能劇場 小ホール

内 容：平成30年度に続き2回目。東京都・武蔵野市の共催事業に協力した

広 報：『市報』、SNS、ホームページ

展示資料：◎歴史公文書

源正寺本堂取毀御届、稲荷神社戦災被害報告（昭和20年『社寺関係文書』）

勤労働員激励の辞配布について（昭和19年庶務文書）ほか全21点

◎歴史公文書以外

米国国立公文書館原蔵資料

修復道具 等

イ 令和3年度 特集展示「渋沢栄一と『不良』少年たち～歴史公文書から見る井の頭～」

開催期間：令和4年2月20日（日）～4月14日（木）

会 場：ふるさと歴史館 第1展示室

内 容：明治38年9月に設置された東京市養育院感化部井之頭学校（現 井の頭公園自然文化園の敷地）に身柄を送致する際に作成された少年たちの調書等を中心に、同校設置から転出までの歴史的経緯、住民とのかかわり、院長であった渋沢栄一との交流、歴史公文書の保存・活用について取り上げた

広 報：『市報』、ホームページ、SNSによる広報を実施した

展示資料：◎歴史公文書

立木払下申請（明治36年『庶務文書』）、養育院寄付者一覧（明治38年『庶務文書』）、調書（明治42年『庶務文書』）、具申書・入院命令書・領収書（明治44年『庶務文書』）、意見書（大正8年『議案』）、町制施行許

可書（昭和3年『町制施行』）ほか 全13点
◎歴史公文書以外
渋沢栄一古希肖像 等（渋沢史料館借用資料）

ウ 戦争資料展示 「戦争と武蔵野Ⅶ」

開催期間：令和3年8月1日（日）～8月15日（日）

会場：ふるさと歴史館 2階会議室

内容：令和2年度に寄贈を受けた組長名簿を活用し、武蔵製作所の労働者について分析をおこなった。また、平成30年度収集動画資料、令和元年度収集動画シナリオを紹介。「武蔵野市平和の日条例」10周年であるにちなみ戦後の平和のあゆみを展示。図録を作成した

展示資料：◎歴史公文書

昭和35年「第2回武蔵野市議会定例会会議録」

昭和45年「武蔵野市世界連邦平和像」

平成21年「武蔵野市長選挙公報」

平成21年「核実験抗議文」 ほか全9点

◎歴史公文書以外

組長名簿（宇田川組）、宇田川氏辞令

米国国立公文書館原蔵資料 など

エ 第1回企画展 「水と武蔵野」

会場：ふるさと歴史館 第2展示室

開催期間：令和3年5月15日（土）～7月15日（木）

「水の脅威」「見える水・見えない水」「備える水」を担当

展示資料：◎歴史公文書4点

防災課アルバム『写真で見た台風22号』（昭和33年）

ボート借用証（昭和13年『庶務文書』）

玉川上水取水制限にかかる通知（昭和8年『庶務文書』）

ポスター（女子大通り幹線管渠下水道工事。昭和44年頃）

オ 戦争資料展示・博学連携事業

「中島飛行機と埼玉～学徒勤労働員と戦後の産業構造の変化～」

開催期間：令和3年3月22日（月）～5月13日（木）

会場：ふるさと歴史館 市民スペース

共催：私立淑徳与野中学高等学校

内容：淑徳与野中学高等学校 歴史研究部の生徒が作成した研究（第16回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト（國學院大學）応募論文）を生かした展示を実施。当館が収集した米国国立公文書館原蔵資料を加え、大宮製作所に関する研究を深めたもの

展示資料：米国国立公文書館原蔵資料

中島飛行機大宮製作所全景写真・私立中島飛行機本庄青年学校移置附近

図（埼玉県立文書館所蔵）、歴史研究部研究ノートほか

関連事業：

- ・令和3年3月24日（水）
 - ①講演会
「戦争体験者の話を語り継ぐ」（里見祐輔 淑徳与野中学高等学校校長）
 - ②ミニ発表会・展示解説
高橋俊次郎（淑徳与野中学高等学校 歴史研究部顧問 同校教諭）
福山彩佳・阿部紗弓（淑徳与野中学高等学校 歴史研究部員）
参加者 36名
- ・令和3年3月21日（土）
パネル作成および設営作業を同部員とともにおこなった
参加者 14名

カ 博学連携展示 「記憶と記録の継承～小学生が調べた武蔵製作所～」

開催期間：令和3年10月2日（土）～10月17日（日）

会場：ふるさと歴史館 市民スペース

内容：市内在住の小学6年生が作成したジオラマを用いたミニ展示。武蔵製作所についての簡易な解説パネルを作成

※図録は作成せず

展示資料：ジオラマ、調査ノート、米国国立公文書館原蔵資料

キ 「没後50年 野田九浦展」

開催期間：令和3年10月24日（日）～11月25日（木）

会場：ふるさと歴史館 市民スペース

展示資料：昭和49年『野田邸解体工事』

ク 令和3年度第3回企画展「武蔵野の名所」

開催期間：令和3年10月9日（土）～12月28日（火）

会場：ふるさと歴史館 第2展示室

展示資料：開村100年（平成元年）・都市アメニティ委員会（平成2年～）関係文書計2点

(2) 外部対応

ア 歴史館大学

学芸員（歴史・民俗）・文化財指導員（埋蔵文化財）・公文書専門員の各専門職員が通年の講義を実施し、生涯学習支援をおこなった。3年目

タイトル：「歴史公文書で見る武蔵野の近現代」①②③

開催日：5月から毎月1回（除8月、全10回）

会場：ふるさと歴史館 会議室

受講生：①7名、②7名、③6名

演 題

< 1年生講座 >

- ①ガイドンス～歴史公文書とは何か～
- ②事務引継書から見る武蔵野の行政課題
- ③文書館とは何か
- ④受講生の発表から見る各地の文書館
- ⑤『庶務文書』とは何か～公文書の探し方～
- ⑥社寺資料から見る武蔵野の神社・寺院
- ⑦村・町制時代の議会とは
- ⑧グリーンパーク返還を歴史公文書から見る
- ⑨歴史公文書の保存と活用
- ⑩まとめ

< 2年生講座 >

- ①ガイドンス～歴史公文書を使うために何が必要か～
- ②歴史公文書の階層化
- ③公文書館とは何か
- ④受講生の目から見る各地の公文書館
- ⑤「良い」情報検索システムとは何か
- ⑥歴史公文書の審査
- ⑦歴史公文書の展示
- ⑧歴史公文書の保存
- ⑨歴史公文書の選別
- ⑩まとめ

< 3年生講座 >

- ①ガイドンス 今年度の計画と展望
- ②『諸官庁伺上申書類』の分析と今後の課題
- ③歴史公文書の活用と個人情報の保護
- ④議会資料の目録作成とその効果
- ⑤選挙に関する文書の収集
- ⑥コロナ関係文書～歴史的緊急事態に関する文書の取り扱い～
- ⑦未整理資料への対応
- ⑧空中写真の取扱い
- ⑨歴史公文書の活用と個人情報の保護②
- ⑩まとめ

イ 防火セッションへの出講

内 容：文化財防火デーに合わせて開いた文化財の普及啓発にかかる講演会

演 題：「渋沢栄一と武蔵野～歴史公文書を手がかりに～」

開 催 日：令和4年2月19日（土）

会 場：ふるさと歴史館ワークスペース

参加者：27名

ウ 文教委員会勉強会

演 題：「歴史公文書からみる武蔵野市の近現代史」

内 容：武蔵野市における文書管理制度、歴史公文書制度と公文書館機能について。歴史公文書の特徴（戦前期議会関係資料）、中島飛行機跡地利用の変遷を例にとりあげた

開催日：令和4年1月17日（月）

会 場：ふるさと歴史館ワークスペース

参加者：21名（市議会議員、市職員）

エ 第10回公益財団法人特別区協議会・東京都公文書館共催セミナー

テ ー マ：「公文書管理とアーカイブズの役割」

会 場：東京区政会館

開催日：令和4年1月13日（木）

演 題：①武蔵野ふるさと歴史館の現状と課題～歴史公文書制度と複合施設～
②依田 健（国立公文書館上席公文書専門官）
「公文書の管理と国立公文書館の役割」
93人（オンライン併用）

オ 令和3年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会研修

演 題：「公文書からわかる武蔵野の戦争と平和」

対 象：委員向けのリモート研修として録画を撮影した（年度内公開予定）
※市職員も視聴可能

カ 学校連携

①小林眞理（東京大学教授）社会学ゼミに対するディスカッション
令和3年12月15日（水）

②境南小学校6年生に対する授業支援

・SDGsと武蔵野市

歴史館を訪問して児童とディスカッション（計2回）

オンラインディスカッション（計1回）

・戦争と武蔵野

6年生全員（3クラス）への授業（計3回）

キ 視察

板橋区公文書館職員（2名）視察対応

令和4年3月19日（土）

（3）フェローシップ（特別研修員）の受入

令和3年10月1日より特別研修員を受け入れた

須田 佳実（一橋大学院社会学研究科博士課程）

戦後の市民運動、とりわけ戦争体験の記録と継承に注目した研究をおこなっている

（４）博物館実習の受入

期 間：令和３年８月２３日（月）～３０日（月）

人 数：４名

内 容：第４日目（８月２６日（木））を終日担当し、公文書館機能にかかる講義、資料取扱いの実務を教授した。

６ 公文書管理に関する研修等

（１）総務課主催による研修

令和２年度から、従来の研修を再編成し、新規採用職員から文書取扱主任までⅠからⅤまでのレベル別研修に切り替えた

歴史公文書等については公文書専門員がⅠ・Ⅳに協力（テキストの執筆・助言、動画による出演）した

（２）人事課主催による研修

新規採用職員向け研修の一環として博物館機能、公文書館機能、武蔵野市の歴史（原始から現代まで）、文書管理について講義

開 催 日：令和３年４月８日（火）

新採用職員、武蔵野市職員（人事課長ほか人事課職員）計４８名

（３）公文書管理にかかる職員研修

総務課主催研修のⅥ段階目に位置する管理職向け研修（総務課と共管）

総務課と協議し、令和３年度は実施を見送った

（４）国立公文書館主催事業

令和３年度アーカイブズ研修

①アーカイブズ研修Ⅰ

参加日程：令和３年８月２３日（月）～２７日（金）

参 加 者：２名（行政職、会計年度任用職員）

②アーカイブズ研修Ⅱ

参加日程：令和３年２月３日（木）～４日（金）

参 加 者：３名（行政職１・会計年度任用職員２）

（５）その他

「武蔵野市の平和のとりくみ～歴史公文書から読み解く『市民参加』」

令和３年１２月１２日（日）１９名参加

武蔵野の教育を語る会主催、オンライン併用講演会

(6) 職員研修

ア 全史料協・全史料協関東部会

①総会・総会記念講演会

開催日：令和3年6月11日（金）

内容：総会

記念講演会

松澤裕作（慶応義塾大学教授）

「アーカイブズは何とつながっているか？～利用者の視点から」

※ZOOMによるオンライン講演会

②第309回定例研究会

開催日：令和3年7月16日（金）

内容：「公文書館におけるデジタルアーカイブの構築と運用」

報告①内藤潤・木本洋祐（神奈川県立公文書館）

報告②元ナミ・逢坂裕紀子（東京大学文書館）

※ZOOMによるオンライン講演会

③第310回定例研究会

開催日：令和3年10月14日（木）

内容：「コロナ禍における公文書館の取組み」

渡邊智之（群馬県立文書館）

※ZOOMによるオンライン講演会

④第305回定例研究会（令和2年度から延期）

開催日：令和4年3月4日（金）

内容：「東京都の新公文書館と公文書管理条例」

相原宏美（東京都公文書館）、瀧澤明日香（同）、西木浩一（同）

※ZOOMによるオンライン講演会

⑤第47回全国大会（高知）

開催日：令和3年11月18日（木）・19日（金）

※ZOOMによるオンライン開催

⑥総会

開催日：令和3年6月8日（火）

※ZOOMによるオンライン開催

⑦役員会

開催日：令和3年5月18日（火）、令和4年3月2日（水）

※ZOOMによるオンライン開催

役員会に先立ち、会計資料の監査をおこない報告をおこなった

イ 国立公文書館

①「国際アーカイブズ週間」記念講演会

開催日：令和3年6月9日（水）

内容：清家篤（慶應義塾学事顧問）「生涯現役社会の条件」

坂東真理子（昭和女子大学理事長・総長）
「公文書館とアーキビストへの期待」

参加者：2名（担当課長、公文書専門員）

②全国公文書館長会議

開催日：令和3年6月10日 ベルサール飯田橋駅前

内容：伊藤一晴（国立公文書館上席公文書専門員）「アーキビスト認証について」
意見交換「防災対策—水害対策の事前準備—」
青木睦（国文学研究資料館准教授）
梅原康嗣（国立公文書館統括公文書専門員）

参加者：2名（担当課長、公文書専門員）

③実務担当者意見交換会

開催日：令和3年6月10日 ベルサール飯田橋駅前

テーマ：「新型コロナウイルス感染症に対する館の対応」
事例報告およびグループ討論

参加者：1名（公文書専門員）

ウ 国立公文書館 アジア歴史資料センター

①令和4年2月7日（月）

※ZOOMによるオンライン講演会

講師 中野 良（研究員）

参加者：2名（行政職、公文書専門員、会計年度任用職員）

②令和3年11月2日（火）

テーマ：デジタル・アーカイブの進化と歴史教育・歴史研究

※ZOOMによるオンライン講演会

基調講演 波多野澄雄（アジア歴史資料センター長）

パネルディスカッション

上田薫（スタンフォード大学フーバー研究所キュレーター）

赤木莞爾（慶應義塾大学名誉教授）

後藤真（国立歴史民俗博物館准教授）

参加者：2名（公文書専門員、会計年度任用職員）

エ その他

①シンポジウム参加

内容：「公文書管理法後の自治体と文書管理」

宮間純一（中央大学文学部）「自治体における公文書管理の今日的課題」

早川和宏（東洋大学法学部）「公文書管理法と自治体～法律への副反応？～」

柏原洋太（千葉県文書館）「千葉県文書館における誤廃棄問題以後の取組み」

工藤航平（東京都公文書館）「石川県における公文書管理と公文書館設置」

鈴木直樹(中央大学広報室大学史資料課)「熊本県の公文書管理とその体制」
高江洲昌哉(神奈川大学国際日本学部)「公文書管理法以後の公文書管理の
現状と「課題」―福島県を事例にして」
手塚雄太(國學院大學文学部)「香川県における公文書管理の現状」
小関悠一郎(千葉大学教育学部)「山形県における公文書管理をめぐる動向
と民間史料の保存」

※ZOOMによるオンライン講演会

②新人議員施設見学

令和3年10月25日(月)

市議会議員補欠選挙にともなう新人議員の施設見学に対応した
市議会議員 2名

③個人情報保護セミナーの受講

令和3年10月29日(金)

※ZOOMによるオンライン講演会。行政管理研究センター主催

7 公文書専門員等の異動等

(1) 会計年度任用職員(アシスタント職員)

令和3年度は2名を雇用し、歴史公文書等の整理に従事している

(2) 行政職

佐藤 由美子(主任) ~令和3年3月31日

宮崎 俊樹(主任) 令和3年4月1日~

(3) 公文書専門員

令和4年度採用の会計年度任用職員(1名)の公募をおこなった

8 メディア掲載への協力

・市広報誌『季刊むさしの』情報提供

渋沢栄一(公文書専門員)、横溝正史(同)、国木田独歩(同)

・新聞(カッコ内は取材日)

東京新聞(8/10、10/10、3/3)、朝日新聞(9/30、3/3)、読売新聞(10/15)

・映像(同上)

NHK(10/11、10/27)、ジェイコム東京(10/5)

9 令和4年度の主な事業予定

(1) 総務課主催研修

文書管理の実務研修に協力。令和4年度中

(2) 人事課主催研修

新採用職員の新入研修に協力。令和4年4月5日(火)・7日(木)

(3) 公文書管理にかかる職員研修

令和4年度中（総務課共催）

(4) 令和4年度廃棄対象文書の選別スケジュール

- ・ 燻蒸…夏頃
- ・ 排架、整理、目録の公開…秋頃

(5) 研修

- ・ 国立公文書館主催 令和4年度アーカイブズ研修
アーカイブズ研修Ⅲ
行政職1名
アーカイブズ研修Ⅱ
会計年度任用職員1名

(6) 令和4年度の歴史公文書等の展示

歴史公文書の活用に努める。

※タイトル・日程いずれも仮

ア 企画展

- ・ 「武蔵野の『変化』を探る」(仮)

開催日：令和5年1月14日（土）～4月20日（木）

内容：国立公文書館所蔵資料展／学校連携展示。鉄道敷設による市域の変化や、
道具・くらしのうつりかわりを公文書の中から探る

イ 特集展示

- ・ 「震災と歴史公文書～関東大震災100年～」

開催日：令和5年2月19日（日）～4月13日（木）

内容：令和4年3月末で東日本大震災関係文書のうち10年保存文書の移管を
受ける。100年前の関東大震災にかかる歴史公文書と比較しつつ2つの
震災について考える

ウ 展示室外における展示事業

- ・ 中島飛行機関連資料展示「戦争と武蔵野8」

開催日：令和4年7月30日（土）～15日（月）

歴史館会議室にて

エ 普及活動

歴史館大学

- ①旧年度履修生（4・3・2年生）を対象とした講座・演習（全10回）
- ②令和4年度新入生（1年生）を対象とした講座（全10回）

(7) 関連団体との連携

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 監事（令和3～4年度）

10 歴史公文書等に関する情報共有

(1) 令和3年度 個人情報保護法改正にかかる対応

・「死者の個人情報」の取扱い

→「個人に関する情報には、死者に関する情報も含まれる」
（『武蔵野市情報公開条例の解釈・運用の手引』）

(2) 歴史公文書等管理委員会会議資料・議事録等の公開について

ア ホームページにおける公開

課 題：議事抄録の委員名
全課の分析一覧の提供方法
方 法：市の公式ホームページにPDFを掲載

イ 市民スペースにおける公開

方 法：アを印刷し市民スペースに排架

(3) 司法関係文書の閲覧利用について

自治法務課移管文書

昨年度の管理委員会で司法関係文書の取り扱いについて助言を受けた
→令和3年度移管文書のうち自治法務課から文書が移管予定の実物を見ながら
利用制限について助言を受けたい

(4) 個人情報を含む歴史公文書等の展示について

令和3年度特集展示「渋沢栄一と『不良』少年たち」にて使用した
→本籍地の村名・番地をマスキングして現物を展示した

(5) 総務省「第5回 行政不服審査法の改善に向けた検討会」より

・申請のオンライン化

論点：コロナ禍における電子政府の流れ
→高齢者は望んでいないのではないか
秘匿性の確保
→本人確認が困難
→非公開性の確保
→押印廃止により申請者の了承を保証しにくくなっている
必要とされているのか？
→専門的であるため面談以外の補正対応が困難

・不服審査会等の事務の委託促進

論点：→審査会の共同設置（委託、一部事務組合、広域連合）

質を確保し事務負担の軽減を図る

・答申の LG-WAN 公開

論点：総務省提供のデータベースの検索性が低い（絞り込みがしにくい）

審理員意見書が未登録

インターネットに接続してほしい

あいまい検索に対応してほしい

・制度そのものの認知度の低さ

論点：行政不服審査制度の趣旨が浸透しておらず、審査請求に対する期待した結果を得られず行政の不信を増大させる

・大量請求への対応

論点：オンライン化でやみくもに審査請求が提出されるのではないかとの懸念

(6) デジタルアーカイブについて

「震災アーカイブ」の閉鎖相次ぐ（NHK 令和3年3月19日）

論点：・継続した人材確保の難しさ

サーバー等の運用・更新にかかる多額のコストが維持できない

「デジタルアーカイブはサーバーの利用料や機器の更新などに毎年、数百万円の費用がかかっている」「デジタルアーカイブは目に見える成果が得られるわけではないので、財政に余裕がないなかで事業の意義を理解して予算を割いてもらえるかどうか苦慮」

・許諾取得の困難さ

→非公開のことが多い

(7) 公文書管理法施行令の改正について

令和4年1月21日閣議決定

・公文書等の管理に関する法律施行令及び内閣府本府組織令の一部を改正する政令
→各府省庁から国立公文書館に文書※を移管する期間を30年から20年に短縮 等

※法律、条約、政令、閣議決定等に関するもの

今後のスケジュール：令和4年度中の改正が予定されている

第3 その他